

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回11月のてがたんは、11月9日(土)で、「木の実・草の実」がテーマです。植物の種子の特徴を観察し、どのように新しい住みかへ進出していくのかを探ります。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見は、**10月29日(火)**の9:30からです(台風の接近が予想されるため、日程を変更しましたのでご注意ください)。よろしく願いいたします。

10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→親水広場→市民農園前→けやき広場(解散)
- 観察日時と天気：2013年10月12日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 参加人数：16人(大人12人、こども4人)
- 市民スタッフ：7人(蒲田知子、木村稔、小泉伸夫、須貝基康、竹本周平、松村定雄、湯瀬一栄)
- 鳥博職員：2人(小田谷嘉弥・村松和行)

観察した生き物の記録

【鳥類】

カモ科：カルガモ、コガモ、カイツブリ科：カイツブリ、ノハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ/クイナ科：バン、オオバン/シギ科：イソシギ/タカ科：トビ/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：アリスイ/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス、ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ホオジロ科：ホオジロ/外来種など：ドバト

【両生・爬虫類】

ニホンアマガエル、カナヘビ、アオダイショウ

【昆虫】

チョウ目：ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハ、キタテハ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ルリシジミ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ウラナミシジミ、ウラギンシジミ/トンボ目：シオカラトンボ、ノシメトンボ、アキアカネ、ウスバキトンボ/バッタ目：ショウリョウバッタ、ツチイナゴ、コバネイナゴ、アオマツムシ(声)、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、キンヒバリ(声)、カマキリ/カメムシ目：ヨコヅナサシガメ、ナガメ

【クモ】

ナガコガネグモ、ジョロウグモ、オニグモ

【花】

ツユクサ、セイタカアワダチソウ、アキノノゲシ、ハキダメギク、カタバミ、コスモス、アメリカカタカサブロウ、ハナイバナ、ミゾソバ、イヌタデ、ヒレタゴボウ、ハナミョウガ、カラスウリ、イシミカワ(実)、アメリカハナミズキ(実)

10月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「鳥の渡りとモズの高鳴き」でした。さわやかな秋晴れの下、博物館前から市民農園前まで手賀沼沿いを歩き、ヒヨドリやモズの高鳴きを観察しました。



今月の案内人
木村稔さんと蒲田知子さん



③ 未熟な実をつけていた
トウネズミモチ



④ じっくり観察できた
ヤナギに止まるアリスイ



⑤ ヤナギの根元に
潜っていくアリスイ



⑥ ツツジの植え込みに巣を
作っていたナガコガネグモ



⑦ 水辺から飛び立った
アオサギ



① あちこちで高鳴きをしていたモズ
集合場所からも観察できた



歩いたルートと観察した生き物



② 次々と林から飛び出し、
南へ渡って行ったヒヨドリ



⑧ レースのような花びら
のカラスウリ



⑨ アオダイショウの
幼蛇を捕まえて観察



⑩ 湿地に咲いていた
ミソソバの花



⑪ 空高く帆翔していた
トビ



⑫ 渡ってきたばかりの
コガモの群れ

今月の鳥 モズ

スズメ目モズ科

モズは鋭いくちばしと頑丈な脚を兼ね備えた「小さな猛禽」です。秋になると関東地方にやってきて、なわばりを主張する「高鳴き」を行います。冬は雌雄別に生活しますが、春になると雌が雄のなわばりに入ってペアが形成されます。5月ごろに平地での繁殖を終えると、高原などに移動して2回目の繁殖を行います。モズの姿を見やすい秋、彼らの行動を観察してみましょう。



草に止まって獲物を探すモズの雄